

東吉野村
地域おこし協力隊
3年間の活動

平成 29 年 3 月 16 日 大谷彩貴

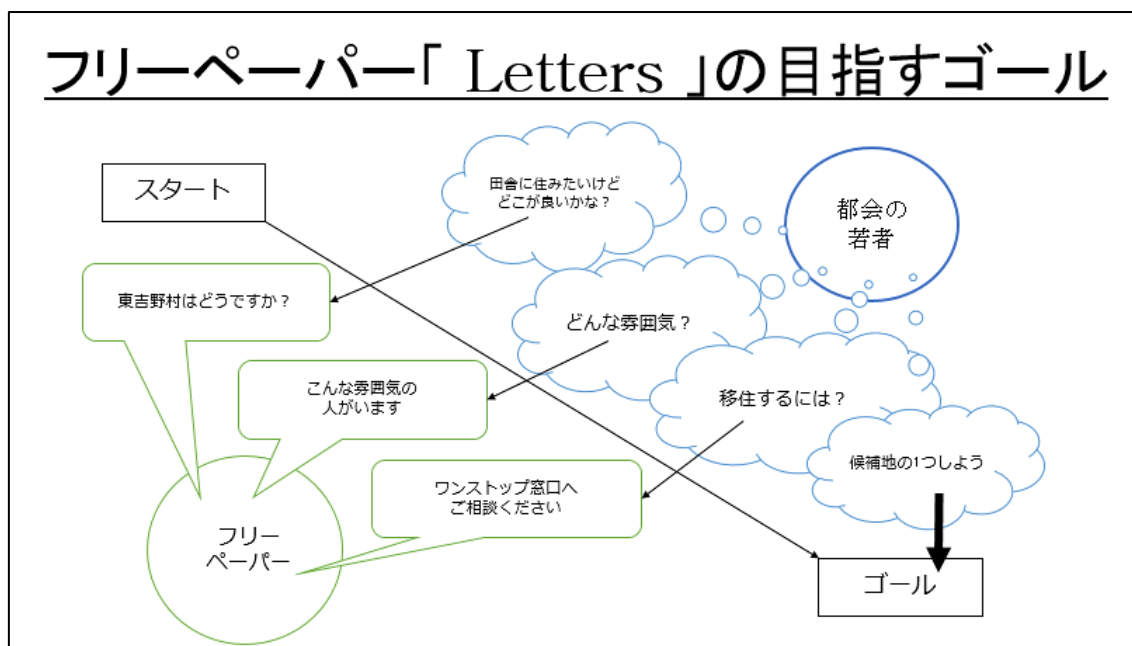
活動① 村を紹介するフリーペーパーの発行

概要

過疎化対策として計画された「クリエイティブヴィレッジ構想」の対象となるクリエイターをはじめ、田舎暮らしに興味のある若者に、東吉野村の存在と、ネット上からでは得られない村の雰囲気を感じてもらい、田舎暮らしの候補地の一つにいてもらうことを目的とする冊子。企画・取材・撮影・デザイン・編集・発行事務など全て大谷一人で行った。

※村の雰囲気を都市に伝えるとは？

村に住む人達の『生活感』や『価値観』。どんな人達が住んでいるのか？



配付場所について

配付エリア 大阪市内、京都市内、東京23区、奈良県内

主な配付添付 コワーキングスペース、シェアオフィス、カフェ、渋谷ヒカリエ（8階）
本屋（スタンダードブックストア、恵文社、とほん）

成果



平成26年 10月6日 創刊号発行 600部

配付先：東京・大阪・京都（シェアオフィスやカフェなど29店舗）

特集：村に移住したデザイナー夫婦に聞きたい3つのこと

反響：Facebook いいね80人、シェア4件

Twitter 3人が紹介

その他：番組制作会社の調査員がネット上で見つけ、
報道ステーションの取材に繋がる。



平成27年 3月27日 第2号発行 600部

配付先：東京・大阪・京都・奈良（40店舗）

特集：デザイナー父ちゃん、家族を連れて山村で暮らしてみたい！

反響：Facebook いいね91人、シェア6件

Twitter 1人が紹介

その他：雑誌ぱふるの別冊『なら街本』で紹介



平成27年 6月29日 第3号発行 1000部

配付先：東京・大阪・京都・奈良（53店舗）

特集：田舎の宿でのんびりしてみよう

反響：Facebook いいね45人、シェア8件

その他：フリーペーパーからの観光集客0件

数カ所から再発行のリクエストあり



平成28年 4月 5日 第4号発行 5000部

配付先：東京・大阪・京都・奈良（53店舗）

特集：今回のLettersは、東吉野中学校の私達が地元・東吉野を紹介します！

反響：Facebook いいね76人、シェア8件

その他：中学校から全校生徒に配付。

日本タウン誌・フリーペーパー大賞の読者投票部門で

202誌中30位にランクイン（奈良県1位）

※現在、第5号を編集集中

活動② ニホンオオカミ手作り絵本コンクール

概要



ニホンオオカミが捕獲されて110年となる記念事業として、ニホンオオカミをテーマにした手作り絵本コンクールを開催。応募作品の展示会と応募絵本を出版をとおして、最後のニホンオオカミが捕獲された村として、PRした。

※募集記事の掲載

雑誌『公募ガイド』6～8月号

雑誌『Moe』6月号

産経新聞 2015年6月1日の西日本版文化面で紹介

奈良新聞 2015年7月5日の表紙で紹介

毎日新聞 2015年8月3日の奈良版で紹介

大谷の担当業務

企画段階：企画、全国の手作り絵本コンクール団体へ問合せ、出版業者への問合せ
予算書の作成、実施要項の作成・起案、雑誌媒体への問合せ・発注
県内の絵本作家へ審査会参加の依頼

応募段階：雑誌媒体へ掲載依頼、村HPに募集ページを掲載、**村内ガイド**
問合せ対応（応募用紙を郵送請求された方に観光パンフやフリペ等も送付）
プレスリリース、応募者の集計やリストの作成、**応募者へ作品到着の連絡**

審査段階：村内審査員の選出と依頼、審査会の準備・開催、弁当手配、審査の集計

発表段階：村HPに結果発表ページを掲載、応募者への通知、賞状の作成
賞状と賞金の発送、報道各社へのプレスリリース、クレーム対応（2件）

展示段階：展示会の企画、村教委と住民ホールで展示会の設営、プレスリリース
読み聞かせゲストのブッキング、村HPに展示会開催のページを掲載
来場者の統計、アンケート集計

返却段階：作品返却発送、**返却希望者へ作品保管の交渉**、届いてない絵本の追跡（1件）

成果



応募総数：112 点

募集期間：2015 年 5 月 1 日～9 月 30 日

問合せ者：48 人

(主に手作り絵本の作り方)

応募者の統計：

男女比 男 40 人 / 女 80 人

平均年齢 46 歳 (主に 30、40、70 代)

主な地域 奈良 18 点、兵庫と大阪 13 点



新聞掲載：

奈良 2015 年 7 月 5 日の表紙

毎日 2015 年 8 月 3 日の奈良版

読売 2015 年 10 月 31 日の奈良版

朝日 2015 年 10 月 31 日の奈良版 (左)

毎日 2015 年 11 月 4 日の奈良版

産経 2015 年 11 月 6 日の西日本版文化面



応募作品の展示会：

住民ホール来場者 259 人、まるフェス 61 人

村内来場者 159 人、村外来場者 163 人

応募者とその家族や友人 14 人

村内宿泊 4 人

メディアでの紹介：

2015 年 11 月 5 日 NHK 奈良「ならナビ」



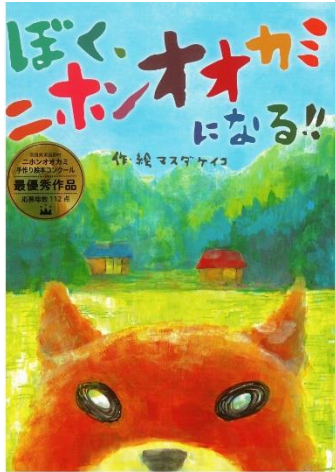
村外の展示会と原画展：

2016 年 8 月 3 日～10 日 宇陀市カエデの郷

2016 年 9 月 3 日～11 日 葛城市立新庄図書館

活動③ オオカミ絵本の出版

概要



ニホンオオカミ手作り絵本コンクールの優秀作品を出版。

出版／発行

2016年3月1日 村長賞作品を出版

マスダケイコさん作『ぼく、ニホンオオカミになる』

2016年9月1日 応募作品をパンフレットとして発行

シュウ・ヤマモトさん作『東吉野村とニホンオオカミ』

2016年11月14日 審査員特別賞絵本を出版

エホンオオカミさん作『ひみつのさんぽ』

大谷の担当業務

村長賞絵本：受賞者と出版社との連絡調整（校正など）、契約事務、起案
プレスリリース、村 HP に絵本出版のページを掲載

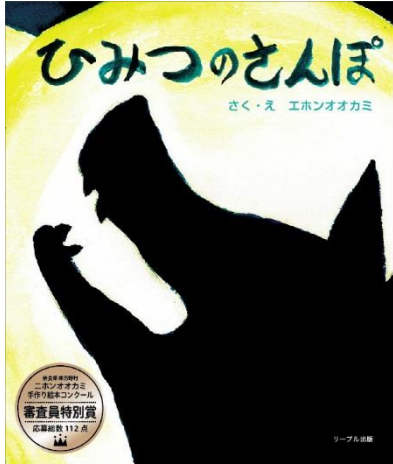
絵本ギャラリーin 奈良でのPR

（実行委員会へ出席5回、原画の準備や開会式での読み聞かせ準備）

パンフレット：受賞者と出版社との連絡調整（校正など）、史実の整合性確認
予算書の作成、契約事務、起案、伝票処理、海外送金手続き
入稿用のデータ作成、プレスリリース、村 HP で紹介

審査員特別賞絵本：受賞者と出版社との連絡調整（校正など）、契約事務、起案
予算書の作成、伝票処理、海外送金手続き、入稿用のデータ作成
プレスリリース、村 HP に絵本出版のページを掲載

成果



出版絵本の販売状況：

『ぼく、ニホンオオカミになる！！』

配本状況：Amazon 販売数 152 冊

書店配本数 664 冊、書店販売数（予測）460 冊

村教委販売数 146 冊

『ひみつのさんぽ』

配本状況：Amazon 販売数 57 冊

書店配本数 212 冊、書店販売数（予測）100 冊

村教委販売数 18 冊



新聞掲載：

奈良 2016 年 4 月 22 日（ぼくニホ）

奈良 2016 年 8 月 1 日（絵本ギャラリー関連）

毎日 2016 年 10 月 15 日の奈良版（パンフ）

朝日 2016 年 12 月 8 日の埼玉版（ひみつ）

読売 2016 年 12 月 8 日の奈良版（ひみつとパンフ）

信濃毎日 2016 年 12 月 19 日（ぼくニホとひみつ）

中国 2016 年 12 月 22 日（同上）

毎日 2016 年 12 月 23 日の高知版（同上）

奈良 2017 年 1 月 1 日（同上）

朝日 2017 年 2 月 8 日の東京版（ひみつ）

その他メディアでの紹介：

2016 年 3 月 18 日 ラジオ大阪『News Tonight いいおとな』に電話出演して絵本を紹介

2016 年 4 月 1 日 ならリビング中和版『ちょっといい本』で出版絵本の紹介

活動④ 高齢者絵本読み聞かせプログラム

概要



村内の子供達に、村内の高齢者がグループを組んで絵本の読み聞かせを行い、世代間交流の機会を増して、高齢者の生きがいや認知症予防を目指すプログラム。

メンバー：村内高齢者 2 名

サポーター：らびゅた、絵本アドバイザー

企画運営：大谷彩貴

大谷の担当業務

予算書の作成、企画書の作成、村内で絵本の読み聞かせをされている方にサポーターとして協力を願い&打合せ、らびゅたの方と一緒に各大字のいきいきサロンに参加しメンバー募集活動、募集チラシの作成、練習日など連絡調整、練習場所の確保、台本の作成

成果



練習：8 回（東吉野村庁舎内）

日程：7 月 30 日、8 月 21 日、8 月 27 日、9 月 8 日

9 月 16 日、10 月 6 日、10 月 20 日、10 月 29 日

講師：らびゅた、絵本アドバイザー



本番：3 回

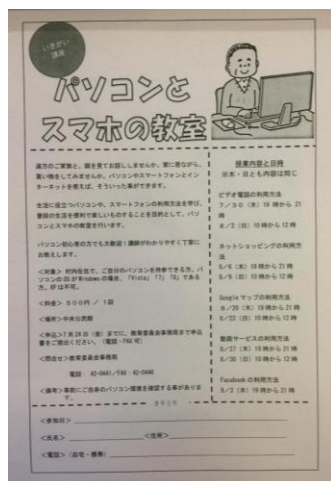
日程：9 月 25 日（東吉野幼稚園）

9 月 29 日（東吉野小学校）

11 月 21 日（まるごとフェスティバル）

活動⑤ パソコン教室

概要



高齢者の方からリクエストをいただき、パソコン教室を開講。村内のパソコンやスマートフォンなどを苦手とする向けの教室。

2016年は、ビデオ通話やネットショッピング等の使い方を覚えていただき、日々の生活に役立てて頂く内容。

2017年は、ワード・エクセルを中心にした内容。

大谷の担当業務

2016年 授業内容の企画、予算書の作成、実施要項の作成、購入タブレットの選定
各授業で使用する資料作成、チラシの作成、問合せ対応、教室の講師

2017年 授業内容の企画、参加者へヒアリング、教室の講師

成果

受講者数：

2016年 全10回 延べ25人

2017年 全3回 延べ23人

活動⑥ 情報発信

村広報誌



2015 年 1 月号の村広報誌に

『協力隊の日々』を掲載。

※現在は、新隊員の與世田が担当。

情報誌『ぱーふる』に寄稿



奈良の情報誌『ぱーふる』で、県内の市町村情報を紹介するコーナー「39 市町村's eyes」にて
2015 年 11 月号から毎月、原稿をひよしちゃんとして作成。

東吉野村地域おこし協力隊 Facebook ページ



2015 年 10 月から東吉野村地域おこし協力隊の Facebook ページを開設。協力隊の活動や村のイベントなどの情報を紹介している。稀に、観光に関する問い合わせがあるので、各課に確認して返答。

※現在は、新隊員の與世田が担当。

フォロワー数 742 人 (2017 年 2 月 16 日 現在)

記事 1 件への平均 リーチ数 1500 件、いいね 60 件

活動⑦ 研修／視察

県内地域おこし協力隊の研修会など

2014 年 12 月 14 日「地域おこし協力隊報告会」吉野町

2015 年 3 月 19 日～20 日「ふるさと復興協力隊・地域おこし協力隊の研修会」明日香村

2015 年 11 月 30 日「ふるさと復興協力隊・地域おこし協力隊の研修会」東吉野村

島根県 海士町『めぐりカレッジ中級コース』



日程：2015 年 5 月 2 日～5 日

内容：地域課題を解決するために、地域内外の関係者と協力関係を築き、一緒に未来へ向かう橋渡しをおこなう「地域コーディネーター」を育成する学びの場。地域コーディネーターとして必要な考え方や手段を、田舎ベンチャーとして活動している巡の環スタッフや海士町のキーパーソンの方々と交流しながら、体感と実績を通じて習得する。



※詳細はレポート「挑戦し続ける過疎の島」を参照

兵庫県 丹波市を視察



日 程：3 月 22 日～23 日

ガイド：中川ミミさん（丹波市地域おこし協力隊）

場 所：柵ご近所（移住者のデザイン事務所）

シェアハウス兼農家民宿 フラワーハウス

シェアハウスみんなの家、旧衣川邸

関西大学佐治スタジオ

活動⑧ その他（個人）

村内ガイド



体験型ワークショップ企画の為の村内見学

日 程：2015 年 2 月 8 日

参加者：三重や大阪の方

ガイド：よしの庵（昼食／打合せ）

深吉野よもぎ加工場、木協跡（皮むき体験）



東吉野村を巡るツアー（昔の暮らしとオオカミ編）

日 程：2015 年 7 月 4 日～5 日

参加者：絵本コンクール応募者と大豆生移住者

1 日目：投石の滝、天好園（昼食）丹生川上神社

民俗資料館、二川（交流会）

2 日目：OFFICE CAMP、榎本衣料品店

鷲家家口周辺（お土産）、ニホンオオカミ像



審査員特別賞受賞のエホンオオカミさんをご案内

日 程：2016 年 2 月 2 日

参加者：エホンオオカミさん

ガイド：投石の滝、天好園（昼食）丹生川上神社

鷲家家口周辺（お土産）



東吉野村を巡るツアー（クリエイティブ編）

日 程：2016 年 3 月 20 日

参加者：東京のデザイナーさん等 5 名

ガイド：刀匠 河内さん宅、OFFICE CAMP

平野 泉の会 20 周年記念 写真スライドの作成



村内ボランティアグループの記念会で使用するスライドをパワーポイントで編集（写真 120 枚）。会の人からのアイディアを元に、吹き出しで、セリフを出すなど、アニメーションも追加。2016 年 5 月 11 日の記念会で公開した。

音楽イベントのサポート



2016 年 9 月 18 日に、大宇陀あきの湯で開催した音楽イベントのチラシ作成・配付、Facebook ページの開設、Web 媒体数件やイベント情報の配信。

ホームページ作成



東吉野村の宿・食事処『天好園』の新ホームページを作成・開設。

3年間の所感

ポジティブなこと



はじめて東京を離れて、田舎で暮らせた

良いことも、大変なことも含めて、日本の田舎（過疎の地域）の現実を知れた。暮らす前までは、過疎や高齢化、自然が厳しいなど、マイナスなイメージが強かったが、実際に暮らすと、そんなに大変ではないな、というのが正直な感想。人口が少なく、若い人が少なく、自然が厳しくても、地元の人達は楽しそうに暮らしているし、私もその雰囲気の影響されている。もはや、都会人ではないのかもしれない。今の暮らしがスタンダード。

出会えなかった人達と出会えた

協力隊をやって本当に良かったと思えるのは、全国の様々な仕事や活動をしている人達に出会えたこと。出会った人から声をかけていただき、様々な場に参加できたことも良い経験だった。もちろん、東吉野村のなかでも多くの人達に出会えた。村のなかにも面白い活動をされている人が多くいることを知れた。とにかく、友人・知人が爆発的に増え、仕事もプライベートも楽しく（そして忙しく）過ごせた。今後は、この出会いを活かし、新たな地域おこし（のようなこと）に繋がりたい。



予想もしなかった仕事が出来た

フリーペーパーや絵本。当初は予想もしていなかった仕事が出来た。初めてのことばかりだったが、自分の可能性と人の繋がりが一気に広がった3年間だった。特に印象的だったのは、高知の出版社と仕事が出来たこと。都会の業者でなく、地元業者でもなく「地方×地方」という形が、新聞で広く紹介された。

これから

まずは、収入を安定させること

4月から、3つの会社から委託で仕事を受け、月に18～20万の収入を目指す。

また、集落支援員として、東吉野村のオオカミ絵本事業など継続して担当（予定）

その仕事をやりつつ、今まで自分が行ってきた活動（イベント企画やメディア製作）を個人事業として少しずつ取り組んでいきたい。

本来の自分を出していきたい

今までは、協力隊や行政職員といった肩書を意識して、人前で自分を出せなかった。

誰かと話す時は言葉を選んでいたし、大人しいキャラクターを演じてきた。

最近、これらは自分の考え方や行動を狭めているような気がしている（精神的にも悪そうなので、少しずつ、本来の自分を出していこうと思う。

